

KANA GAWA ARTS PRESS

8 & 9₂₀₁₅

CREATOR'S VOICE 144

田尾下 哲

三島由紀夫の原作との「異なる世界観」を突き詰めた果てに…
オペラ『金閣寺』を演出

第 22 回神奈川国際芸術フェスティバル開幕！
その日、そのとき、その場所で
アートはいつでも「グローカル」

表紙撮影：福里幸夫

奇数月 15 日発行 [隔月刊]

神奈川芸術プレス Vol.125
田尾下 哲
CREATOR'S
VOICE 144

火の中で再生を果たす不死鳥のように。
生まれ変わるためには、金閣寺を燃やす。



原作とオペラの「異なる世界観」を突き詰めた1年

—オペラ『金閣寺』に接すると、黛の分かり易い音作りに惹かれる一方で、K.H.ヘンネベルクの台本と原作小説との設定の違いに驚いてしまいます。

その通りです！ 例えは私が昨年手がけた『リゴレット』もそうですが、演出する際に原作からも読み解ける部分が多くありますね。しかし、オペラ『金閣寺』に関しては、日本人が三島を知り過ぎている嫌いがあり、小説の『金閣寺』で描かれても黛の『金閣寺』では描かれない箇所や、設定が変わっている部分をどうしたものか……その点にこの1年悩みました。まず、主人公の青年僧溝口が原作では吃音症なのに、オペラでは「片手が不自由」というハンディに変えられたという難しさがあります。溝口が腕に不具合を持つと、友人の柏木が抱える身体障礙との近似性——柏木は脚が不自由——がいきなり生じてしましますから、三島の愛読者としても演出家としても、そこは頭を抱えてしまつて(笑)。

—なるほど。オペラで解釈が最も難しい点ですね。

小説の溝口は、柏木から尺八を貰って練習します。すると、想像以上に良い音が出せるようになる。つまり、楽器を奏することで言葉よりもスムーズに感情を出せるようになります。一方、オペラの溝口にも柏木は尺八を渡しますが、手が使えない男に楽器を与えることは意地悪な行為になります。しかも、このシーンは後の展開とドラマ面での繋がりが無く、エピソードとしては宙に浮いたまま解決されずじまい、言葉も音楽も物語を先に進めて

くれません。ただ、最近ですが、史実や原作からちょっと離れてみて、ヘンネベルクのオペラ台本のみを読み解く姿勢に自分を変えてみました。すると、片手が不自由と設定を変えた意図が見えてきました。オペラの溝口は「手が萎えた」——つまり、届かせたいところに手が届かない、そういう歯がゆさを常に抱えた存在なのだと、今では納得できるようになりました。

解釈に「自分ならではの実体験」を繋げて

—溝口のそのフラストレーションが、金閣寺という巨大な存在に向かうというこの物語に関して、何かご自身の中で重なる点はありますか？

小さい頃から野球をやっていましたが、19歳で右肘を壊して球を思いっきり投げられなくなり、ショックを受けた覚えがあります。ただ、最近はそれを忘れていましたが、この前バッティングセンターに行き、昔の感覚でボールを投げた途端、無茶苦茶な痛みが生じました(笑)。その時、「不自由を一生抱える辛さ」を改めて噛み締めました。でも、オペラの主人公の挫折感は、比較できないぐらい強いですね……。溝口は、異性への強いコンプレックスも持っています。幼少期に母親の浮気現場を見てしまったこと、憧れの有為子が目の前で撃たれて死んだことなど理由は幾つもあります。そのためか、劇中で女性(生け花の師匠)と事を成そうとしても金閣寺が立ち現れて邪魔をします。オペラ台本では「寺と自分、美と自分は並び立たない」として溝口は美への反抗から美の象徴である金閣寺を燃やしますが、500年生きて火の中で再生を果たす不死鳥のように、建立から550年経った金閣寺を

自らの手で燃やすことで、金閣寺も自分も生まれ変わるのでではなく、燃やさねばならなかったのです。

シーン作りと人物造型

—確かに、金閣寺の圧倒的な存在感は、溝口にとって「乗り越えられないもの」の象徴ではありますが、激しい憎悪の念をぶつける対象にはなっていませんね。

そうですね。その意味でも、今回は舞台上で常に金閣寺が在る設定にしたいです。お客様の眼から隠す場面はありませんが、装置の移動はさせません。やはり、主人公の心で不動の位置を占める存在なのですから。その上で、長い年月、嵐にも戦争にも負けずに輝き続けた金閣寺なのに、最後には、たった一本のマッチ(楽譜のト書きでは薪ですが)で燃えてしまうというカタストロフに持って行きたいです。

—その溝口を取り巻く人物たちについてもコメントを聞かせてください。

オペラでは、周囲の人々が最後にほぼ全員出てきて、各自の思いを溝口にぶつけます。これまで挙げた役の他にも、金閣寺の存在を最初に彼に教える父親、善意の友人でありオペラでは同性愛者であることが原作よりも強く仄めかされる鶴川、米兵との間で諍いを起こして溝口に腹を踏まれた娼婦が彼を取り囲みます。印象的なアンサンブルです。そのほか、全編で合唱団が活躍し、ギリシャ演劇のコロスのように「全てを知る存在」として情景を説明し、時には溝口と対話し、行動を責めたりします……。ちなみに、今回はこれまでカットされてきたシーン

神奈川県民ホール開館40周年記念／第22回神奈川国際芸術フェスティバル

黛敏郎作曲／三島由紀夫原作／クラウス・H・ヘンネベルク台本

オペラ『金閣寺』全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

12月5日(土)・6日(日) 開演:15:00 上演時間:約2時間20分(休憩含む)

[指揮]下野 竜也 [演出]田尾下 哲 [装置]幹子 S.マックアダムス [衣裳]半田 悅子 [照明]沢田 祐二 [音響]小野 隆浩

[出演]溝口:小森 輝彦(12/5)/宮本 益光(12/6)※溝口役のみダブルキャスト 父:黒田 博 母:飯田 みち代 若い男:高田 正人

道詮和尚:三戸 大久 鶴川:与那城 敬 女:吉原 圭子 柏木:鈴木 深 娘婦:谷口 瞳美 有為子:嘉目 真木子

[合唱]東京オペラシンガーズ [管弦楽]神奈川フィルハーモニー管弦楽団

S10,000円(Sペア19,000円) A8,000円 B6,000円 C4,000円 D3,000円

学生(24歳以下)2,000円(枚数限定・チケットかながわのみ)*未就学児童入場不可/有料託児サービスあり(1週間前までに要電話予約)

第22回神奈川国際芸術フェスティバル お得なセット券 発売中!

『金閣寺』とミュージカルや室内楽などフェス参加の複数演目が特別料金+特典つき+無料郵送!

(8/31(月)まで期間限定・予定セット数完売にて終了)本誌P6参照

詳細・WEB予約(24時間)→<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>(PC版)

チケットかながわ

WEB <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> [24時間]
☎0570-015-415(10:00~18:00)

「金閣寺」特設サイト

<http://www.kanagawa-kenminhall.com/kinkakuji/>
[関連企画]

三島由紀夫と『金閣寺』、日本語による朗読劇『金閣寺』、

ブレトークなど開催。詳細はWEBで。

Twitter @KanakenOpera facebook kanagawaopera

田
尾
下

哲

神奈川県民ホール開館40周年記念 オペラ『金閣寺』を演出

三島由紀夫に「憑かれた」読者は西欧にも多い。

小説『金閣寺』(1956)のオペラ化を熱望したのもその一人、

ベルリン・ドイツ・オペラの総監督、故G.R.ゼルナーである。

彼がドイツ語で台本を書かせ、黛敏郎に作曲を委嘱した歌劇『金閣寺』がベルリンで世界初演されてから

約40年、三島文学に同じく魅了された演出家、田尾下哲がこの異色作に挑む!

を一つ復活させるつもりです。それが、第3幕第4景の「夜の京都の街」です。ここは溝口の師の道詮和尚が女連れで通り過ぎ、それを溝口が目撃するという無言劇の一場ですが、その前後に、彼の修行の模様や華やかな正月の様子など、いろんな視覚的情報を重ねます。暗いドラマですが、ここは和尚の愛人が一番華やかに見えるようにして、新しい見せ場にしたいです。

——それでは観客の皆さんへのメッセージをお願いします。

まず、指揮の下野竜也さんとは、同じ県民ホールで首都オペラ『運命の力』をご一緒にして以来10年振りの共演です。その時は出版楽譜としては存在しないサンクトペテルブルク版の序曲を書き起こして下さり、立ち稽古もご一緒しながら解釈の話し合いを音楽に反映して頂きました。楽譜から物語を立ち上げるのがオペラと教わってきた私にとって、下野さんとの共同作業は理想的なものであり、久しぶりにご一緒出来ることを本当に楽しみにしています。次に配役ですが、今回は主演の小森輝彦さんと宮本益光さんだけがダブルキャスト——溝口役は最初から最後までずっと舞台に立ってもらうつもりです——で、他の皆さんはシングルですが、下野さんと僕の願いが叶って、驚くほど贅沢なキャスティングになりました。歌詞はドイツ語ですが日本語字幕が付きますし、黛さんの音楽が雄弁で、時にキャッチャーもあるので、音の情景描写も堪能して頂けることでしょう。ご来場をお待ちしています!

わたしの神奈川

横浜市保土ヶ谷区の出身です。箱根駅伝で瀬古利彦さんの走りを応援に行ったりしました。その後、相模原に引っ越しましたが、予備校も横浜まで通いました。ですので、気分転換やデートの場所といえばいつも山下公園なんです。神奈川県民ホールやKAATでリハーサルをしているときでも、煮詰まると、ちょっと抜け出しても海を眺めたりして、リフレッシュしています。そういう土地柄を通じて、世界にはいろんな肌の色やいろんな考え方を持つ人が居るのだと、幼い頃に体験できたことがいまでも心の栄養になっているようです。

ちなみに、神奈川県民ホールは「横長のステージ」が特徴的ですね。こういう舞台は、和物の装置や美感を表現するには好都合ですし、3階席からもきちんと見えるステージ作りを心がけています。県民ホールさんから仕事を頂くたび、「地元でやらせて頂けて幸せだ」と実感します。これからもご縁があればと思っています。

取材・文:岸 純信(オペラ研究家) /撮影:福里幸夫



たおした てつ

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。

第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

ドイツ人演出家ミヒャエル・ハンベに西洋演劇、演出を学ぶ。2000年から演出家として活動。03年から09年まで新国立劇場に所属し、オペラ・チーフ演出スタッフを務めた。これまでにアンドレアス・ホモキ、フィリップ・アルロー、キース・ウォーナー、ジョンサン・ミラー、野田秀樹等の助手を務める。09年、チューリヒ歌劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』で、共同演出・振付を担当しヨーロッパデビュー。近年の演出代表作は、二期会『チャールダーシュの女王』、びわ湖ホール『リゴレット』、あいちトリエンナーレ『蝶々夫人』、神奈川県民ホール『ハーメルンの笛吹き男』、ホリプロ『天才執事ジークス』など多数。今後は自作戯曲『ブライヴェート・リハーサル』、宮川彬良新作『ブラック・ジャック』、日生劇場『三銃士』、『後宮からの逃走』など、オペラ、ミュージカル、芝居の演出が控えている。

ギドン・クレーメル& クレメラータ・バルティカ

クレーメル、新しい四季を披露

現代最高のヴァイオリニスト、ギドン・クレーメルがクレメラータ・バルティカと共に『ニュー・シーズズ』と題したコンサートを行う。バルト三国出身の若い仲間と結成したクレメラータ・バルティカとクレーメルは、2000年にヴィヴィアルディの《四季》とピアソラの《ブエノスアイレスの四季》の両方をひとつの作品のように構成した『エイト・シーズズ』というCDを発表、高く評価された。この4月には、再びフィリップ・グラスのヴァイオリン協奏曲《アメリカの四季》や日本の映画音楽作曲家、梅林茂の曲で構成し、“四季”をテーマにした新譜『ニュー・シーズズ』がリリースされた。今回は、ピアソラとグラスの《四季》、そして映画好きのクレーメルが自ら梅林茂に委嘱した新作《日本の四季》など、一層深化したクレーメルの季節への思いを反映した曲で構成されている。デリケートでメランコリックな四季のうつろいを彼はどのように奏でるのか期待したい。



ギドン・クレーメル

モディリアーニ弦楽四重奏団

フレッシュでいきのいいカルテット

2003年にパリ国立音楽院の学生4人で結成したカルテットがモディリアーニ弦楽四重奏団だ。結成以来、彼らは実際にたくさんのライブを世界中で精力的にこなし、音楽祭等で何度も来日もしている。いつもみずみずしさを失わず、なんといっても4つの音が溶け合った極上の音の美しさが特徴。一つの有機体となって奏でる彼らの音は、ときに清らかだったり、光り輝いていたり、爆発するような熱を帯びていたりと変幻自在だ。歴史に残る名カルテット、人気のあるカルテットはあまたあるけれども、彼らのようにリーダーを置かず、メンバー・チェンジもせず、仲の良さがアンサンブルの美しさとして本当に形で演奏に反映されているカルテットはそうない。今回、モーツアルトの第15番、ベートーヴェンの第11番、ショスタコーヴィチの第1番と

18、19、20世紀に作曲された作品が演奏される。通好みのプログラムでもあり、現在の彼らを知るに格好の作品だ。



モディリアーニ弦楽四重奏団

©Marie Staggat

一柳慧プロデュース FLUX Quartet [フラックス・カルテット]

初来日! 衝撃的で刺激的な室内楽体験!

コンテンポラリーをレパートリーとするアンサンブルのなかでも、現在もっとも注目を集めるフラックス・カルテットが、ニューヨーク・フィルのピアニスト、エリック・ヒューブナーと初来日を果たす。一柳慧(神奈川芸術文化財団芸術総監督)のプロデュース公演で、一柳、黛といった日本の作品、ケージ、ナンカロウ、カーターなどのアメリカの作品による、日米の現代音楽に特化したプログラムが組まれている。フリージャズのカリスマとして日本でも活躍したジョン・ゾーンの作品も注目だ。彼らは現代音楽のスペシャリストとして作品を深く読み解いているため、その演奏は圧倒的な説得力に満ちており、一曲ごとに新しい発見、感動を与えてくれるに違いない。

(結城美穂子)



フラックス・カルテット

第22回神奈川国際芸術フェスティバル 室内楽公演

下記3公演+特典つきのお得なセット券発売中!

■室内楽3公演セット券(8/31まで限定販売)
13,000円(無料郵送・限定セット数完売にて終了します)
※神奈川県民ホールギャラリー
鴻池朋子展「根源的暴力」入場券つき

詳細・WEB予約

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>
(PC版・24時間)
チケットかながわ ☎0570-015-415(10:00~18:00)

一柳慧プロデュース

FLUX Quartet [フラックス・カルテット]

10月17日(土) 神奈川県民ホール(小ホール)

一柳慧:弦楽四重奏曲 第3番「インナー・ランドスケイプ」
ナンカロウ:弦楽四重奏曲 第1番
ゾーン:デッドマン ほか
出演
FLUX Quartet(弦楽四重奏)
エリック・ヒューブナー(ピアノ)
一般4,000円 学生(24歳以下)2,500円

ギドン・クレーメル&クレメラータ・バルティカ “ニュー・シーズズ”

10月23日(金) 神奈川県立音楽堂

ラスカトフ:チャイコフスキイ「四季」
からのダイジェスト
ピアソラ:ブエノスアイレスの四季
グラス:ヴァイオリン協奏曲第2番
「アメリカの四季」
梅林茂:日本の四季(委嘱新作)
出演
ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)
クレメラータ・バルティカ
一般7,000円
シルバー(65歳以上)6,500円
学生(24歳以下)3,000円



クレメラータ・バルティカ ©Damil Kalogjera

モディリアーニ弦楽四重奏団

11月21日(土) 神奈川県立音楽堂

モーツアルト:弦楽四重奏曲第15番
ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲第1番
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第11番「セリオーソ」
一般4,000円 シルバー(65歳以上)3,500円
学生(24歳以下)3,000円

いずれも発売中・全席指定／未就学児入場不可／有料託児サービスあり
(要事前予約)
曲目等は変更になる場合があります。ご了承下さい。

第22回神奈川国際芸術フェスティバル 三様のとておき室内楽企画

今秋開幕するフェスティバル。大型企画も目白押しだが、存分にクラシック音楽を堪能したい、そんな願いを叶える3公演をご紹介。「四季」というテーマで選ぶか、フレッシュなアンサンブルにするか、感度の高い現代音楽に浸るか…いずれもとておきの室内楽だ。フェスでは初のセット券も発売されるという。せっかくなら3公演全てを聴き比べてはいかが。

WEB予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

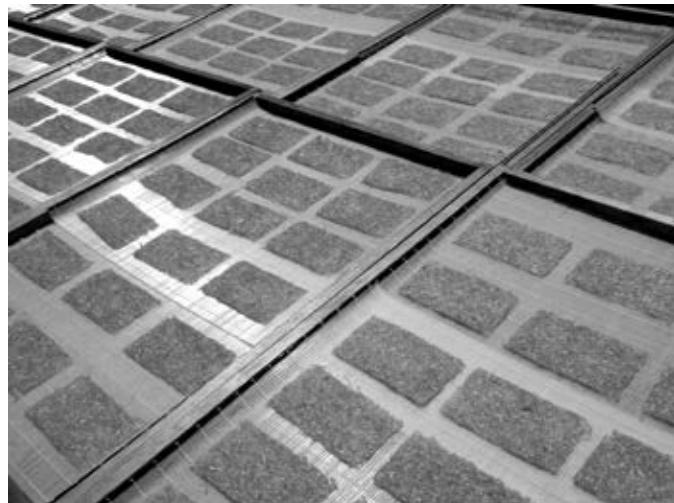
チケットかながわ ☎0570-015-415(10時~18時)

チケットかながわ @Ticket_Kanagawa も更新中!



知ってた？かながわ

神奈川県の伝統と風土に培われた工芸品や農林水産品などを「かながわの名産100選」からエリアごとにご紹介します。



(図版提供:神奈川県水産技術センター 相模湾試験場)

「たたみいわし」
たたみいわし(畳鰯)は、生のシラス(主にカタクチイワシの稚魚)を海苔のように漉き上げ、簾の上に板状に並べて天日で干しあげたもの。陽光豊かな湘南地方の名産として知られています。

なぜ「畳鰯」と名付けられたのかについては諸説あり、「たくさんの中のシラスが縦横にくつづいた姿が畳の目を並べたように見えることから」とも、「シラスを乾燥させた際、かつては畳表に使われるイグサの上に干していったことから」とも言われています。

軽く火に炙って、そのままお酒のおつまみにするもよし、ご飯のおかずにするもよし。カルシウムたっぷり、海の香りを味わえる食品です。

① 藤沢市湘南台文化センター

湘南台駅(小田急線、相鉄線、横浜市営地下鉄)から徒歩約5分。こども館、市民シアター、市民センター・公民館などのある複合施設です。こども館のプラネタリウムは平成21年度に最新の設備に生まれ変わりました。市民シアターでは、「ストリートダンスワークショップ」などのイベントが行なわれています。お問合せ:☎0466-45-1500(こども館)
☎0466-45-1550(市民シアター)



② 神奈川県立近代美術館 鎌倉

2016年1月に美術館としての展覧会活動に終止符を打つことになった鎌倉館。最後の年となる2015年度は、約65年にわたる歩みを3期に分けて振り返ります。開催中~10月4日(日)
「鎌倉からはじまった。1951-2016 PART2:1966-1984 発信する近代美術館」開館:9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館:月曜日(祝日は開館) 一般1,000円、20歳未満・学生850円、65歳以上500円、高校生100円 お問合せ:☎0467-22-5000



1966年 神奈川県立公文書館蔵写真

③ 茅ヶ崎市民文化会館

岸田國士戯曲賞と向田邦子賞を受賞した岩井秀人が自身のひきこもり体験をもとに書いた人気作! 8月29日(土)18:00(終演後アフタートークあり)、8月30日(日)14:00 平成27年度公共ホール演劇ネットワーク事業 ハイハイ「ヒッキー・カンクーントルネード」全自由席 一般2,500円、大学生1,500円、小~高校生1,000円
お問合せ:☎0467-85-1123 ※未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。



©前澤秀登

④ 平塚市美術館

特集展 生誕100年 写真家濱谷浩展 7月18日(土)~9月6日(日)
企画展 ベコちゃん展 7月11日(土)~9月13日(日)
開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜日(7月20日は開館)、7月21日(火)
※7月18日~8月30日は18:00まで開館延長(入館は17:30まで)
入館料 企画展 一般800円、高大生500円、小中学生無料
お問合せ:☎0463-35-2111



小林孝亘 Peko in the moonlit forest 油彩 2015年

その他の県内文化情報

各公演・展覧会情報は2015年6月10日現在のものであり、内容は変更される場合があります。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 県民ホールシリーズ 第5回
これぞ王道一小泉和裕のブラームスとベートーヴェン
神奈川県民ホール 大ホール
9月12日(土)15:00
指揮:小泉和裕
ピアノ:清水和音
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番
ブラームス/交響曲第4番
S6,000円 A4,000円 B2,000円
☎045-226-5107(平日10:00~18:00)
<http://www.kanaphil.or.jp/>



県立神奈川近代文学館

まるごと 佐野洋子展
—「100万回生きたねこ」から「シズコさん」まで—
今も読み継がれる絵本や、自由闊達な文章と批評精神あふれるエッセイ、童話や翻訳まで幅広い分野にわたる佐野洋子の、世代を超えて人びとを惹きつける魅力を原画、初公開原稿、日記や写真、愛用品など計約300点で紹介。会期中、講演会などのイベントも予定。来館者が自由に触ったり、一緒に記念撮影ができるふわもここのねこボスターも。
7月25日(土)~9月27日(日) 月曜休館(9月21日は開館)
9:30~17:00(入館は16:30まで)
一般500円 高校生100円
65歳以上・20歳未満及び学生200円
中学生以下無料
☎045-622-6666
<http://www.kanabun.or.jp/>



©JIROCHO.Inc./KODANSHA

神奈川県県民局くらし県民部文化課

第64回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式
2,000名様無料ご招待!
神奈川文化賞・スポーツ賞受賞者の表彰と
神奈川フィルハーモニー管弦楽団による祝賀演奏。
神奈川県民ホール 大ホール
11月3日(火・祝・文化の日)
14:30
往復はがき(10月2日(金)消印有効)
もしくはインターネットによる申込
(申込多数の場合は抽選)
詳細は [\[第64回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式\]](#) 検索 で
県文化課 ☎045-210-3808



角野栄子さん(2014年の贈呈式より)

公益財団法人神奈川芸術文化財団賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を設立し、広くみなさまのご寄附・お力添えをいただいております。

賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクセンティアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ウォートル / 株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート株式会社オーチューブ / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 / 神谷コーポレーション株式会社 / 川本工業株式会社 / かわり商事株式会社 / 株式会社共栄社株式会社キョウエイ装備 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コトブキシーティング株式会社 / 株式会社シグマコミュニケーションズ / 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 株式会社日建設計 / 日産自動車株式会社 / 日成工事株式会社 / 日生商工株式会社 / 日総ブレイン株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニックESエンジニアリング株式会社株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル・ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商會株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーチスト / 横浜エレベータ株式会社 / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 横浜ビルシステム株式会社 / 株式会社ワイイーシーソリューションズ

永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 **個人賛助会員** 大島正博 / 岡田博子 / 金子祐子 / 黒瀬博靖 / 橋本尚子 / 本田正男 (匿名:1社)

協賛・協力 能舞台協賛 オイス株式会社 **協力** 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 岐陽軒 / 株式会社東芝 神奈川支店 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社 (敬称略 2015年6月10日現在) ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問い合わせ:広報営業課 ☎045-633-3760

もっと、近くに。もっと、アートに。

その日、そのとき、その場所で アートはいつも「グローカル」 第22回神奈川国際芸術フェスティバル

“Think Globally, Act Locally(グローバルな視点で考えローカルに行動する)”を意味する、“グローカル”をテーマにこの秋、芸術フェスティバルが発進します。——企業戦略ではおなじみのこの言葉。アートになぜ?

ナゾナゾを一つ。知らないどこかの誰かが作ったのに、皆が「私のもの」と感じるモノ。どれも違うのに、皆どこかでつながっているモノ。それ、なあに——答えは“芸術”。

考へてもみて下さい。様々な民族や地域の文化が育み、芸術家が個人で創りだした表現が時空を超えて心を揺さぶる人類普遍の財産となる——古今東西、アートはいつも究極の“グローカル”だ。

今秋のフェスにも、現代美術、室内楽、ダンス、バレエ、ミュージカルからオペラまで多彩な表現が、アメリカ、フランス、カナダからブラジルまで世界から集う。まさに“グローバル”。

せっかく見るなら是非「フェスティバルセット券」でのお楽しみをおススメする。舞台だけでなく注目の美術作家、鴻池朋子の個展もと一緒に。音楽、美術、演劇と、芸術は多彩に味わってこそ拡がる醍醐味があるから。

会場の個性も魅力。山下公園至近の、神奈川県民ホールとKAAT神奈川芸術劇場。みなとみらいを展望する紅葉ヶ丘の森に建つ神奈川県立音楽堂——最新の劇場から響きの美しい名建築まで、3つの館をめぐれば自然に「ヨコハマさんぽ」ができる。

アートは“いま、そこで起きていること”を体で共有する体験。その日その時、その場所に足を運んだ貴方だけの素敵な体験をしてほしい。劇場・音楽堂・ギャラリーは究極の“ローカル”だから。

どうめぐる3館? ポイントは2つ!

とにかく最高峰をという貴方に プレミアム3公演セット

ベルリン・ドイツ・オペラが薦敏郎に委嘱、三島由紀夫の名作にもとづくオペラ『金閣寺』(本誌巻頭インタビュー参照)。ラサール石井と豪華キャストが劇場・舞台裏のドラマを笑いに乗せて送るKAAT新作ミュージカル『HEADS UP!』。旧ソ連から世界を席捲した「鬼才」ヴァイオリニストクレーメルが自らの民族の礎ラトヴィアの若者たちと結成した『クレメラータ・バルティカ』。とにかく3館の看板演目を極められる。

アフターコンサートも大切にしたい貴方に 土曜午後3公演セット

観劇は週末ゆったり大切な人と、という方には、松山バレエ団『眠れる森の美女』、フランスの若手カルテット『モディリアーニ弦楽四重奏団』(本誌P4参照)を『HEADS UP!』土曜公演と組み合わせて。



松山バレエ団『眠れる森の美女』

好きなものにこだわりたい! これなら納得

室内楽を極めたい貴方に 室内楽3公演セット

上質で新鮮、刺激的な室内楽3公演。『フラックス・カルテット』『ギドン・クレーメル&クレメラータ・バルティカ』『モディリアーニ弦楽四重奏団』。音楽ファンなら絶対後悔しない組み合わせ。(本誌P4参照)

豪華な舞台が好き!という貴方に オペラ&ミュージカル2公演セット

大きな舞台でめくるめくドラマを楽しみたい方は『金閣寺』と『HEADS UP!』の2演目で。スケールに大満足のはず。



演出:ラサール石井 主演:袁川翔
ミュージカル『HEADS UP!』

全てのフェスティバルセット券が鴻池朋子展の入場券 と特典つき+無料郵送

(各種手数料なし・8/31まで期間限定・限定セット数完売で終了)

KAATコンテンポラリーダンス 2演目のセット券

フェスティバルセット券とは違う独自のセット券もある。観る者の身体感覚にまで訴える独自の表現を常に切り拓くカナダの「カンパニー マリー・シュイナール」。ダンサーの高い身体能力を活かし、欧州にない新鮮な発想の振付とクオリティの高い美術の見事な融合で世界を魅了するブラジルの「デボラ・コルカーラ・カンパニー」。身体表現の“今”をKAATでじっくり楽しめる。

チケットかながわ(電話・窓口のみ)

*フェスティバルセット券の特典・鴻池展・無料郵送はつきません

第22回神奈川国際芸術フェスティバル

10/17(土)~12/6(日)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>

(個々の演目・フェスティバルセット券の詳細もこちら)

■神奈川県民ホール

小ホール

10/17(土)

一柳慧プロデュース

FLUX Quartet【フラックス・カルテット】

大ホール

10/24(土)

松山バレエ団

『眠れる森の美女』全幕

12/5(土)6(日)

薦敏郎作曲／三島由紀夫 原作

／クラウス・H・ヘンネベルク 台本

オペラ『金閣寺』全3幕

(ドイツ語上演・日本語字幕付)



ギャラリー

10/26(月)~11/27(金)【予定】

鴻池朋子展「根源的暴力」



■神奈川県立音楽堂

10/23(金)

ギドン・クレーメル&

クレメラータ・バルティカ “ニュー・シーズンズ”

11/21(土)

モディリアーニ弦楽四重奏団

■KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

10/24(土)25(日)

カンパニー マリー・シュイナール

『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』

10/31(土)11/1(日)

デボラ・コルカーラ・カンパニー『Belle(ベル)』

11/13(金)~23(月・祝)

原案・作詞・演出:ラサール石井

ミュージカル『HEADS UP!』

[チケットかながわ] ☎0570-015-415(10:00~18:00)

または上記WEBから(24時間)

創造を支える仕事人 ⑧

レセプションリスト / チケットかながわ オペレーター

星 佳那 (株式会社ヴォートル)

お客様がなにを求めていらっしゃるのか、声から読み取るように努めています。お伝えする情報は絶対間違いないよう注意を払い、どの座席を選んだらよいか迷われている方には、参考にしていただけるように「この席はこうだと思います」と自分なりのお勧めを申し上げることもあります。特にレセプションリストを担当している県民ホールの客席は目に焼き付けるように覚えていますし、音楽堂、KAATも公演に行くたびに意識して客席を見たり、他のオペレーターと情報共有したりして、自信を持ってご案内できるよう努力しています。

いずれの仕事も、最も大切なのは、お客様の気持ちになってお話をうかがうことだと思っています。「きょうも楽しかった。ありがとう」と言っていただけるのが心の支えです。お客様はもちろん、出演者の方々、スタッフ全員に感謝しながら大好きな県民ホールで仕事できることを幸せに思っています。



これまで登場した仕事人のなかで、お客様との触れ合いが最も多いスタッフかもしれません。皆さんも、電話でのチケット予約、クローケやホールのロビーなど、さまざまな場面で彼らの笑顔と声に出会っているはず。勤続6年の星佳那がおもてなしの心得を語ります。

レセプションリストは、ロビーや客席でのお客様の対応、クローケ業務、入口でのチケットチェックなどを担当する仕事です。ホールにいらっしゃるお客様が真っ先に目にするのが私たちである可能性が高いと思いますので、いつも身なりを整えて笑顔でお客様に接するよう心がけています。私自身音楽が大好きで、「ホールにまたいらしていただきたい」という気持ちが強いので、自然と笑顔になるような感じがします。

チケットかながわのオペレーターは、電話でチケットのご案内をする仕事ですので、「声」で笑顔を感じていただけるよう明るいトーンで心をこめて、また

もっと、
レビューボイス
近くに。

開館40周年を迎えた県民ホールで、ヴェルディ晩年の傑作である『オテロ』が上演されました。栗國淳演出、アレッサンドロ・チャンマルーギ装置・衣裳による新演出、沼尻竜典率いる神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏は、多くの方から「心に深く残る公演」などの高評をいただきました。舞台をご覧になつたお客様の声をお届けします。

神奈川県民ホール・びわ湖ホール・iichiko総合文化センター・東京二期会・
神奈川フィルハーモニー管弦楽団・京都市交響楽団 共同制作公演

ヴェルディ 歌劇『オテロ』全4幕

指揮：沼尻竜典 演出：栗國淳

出演：21日／22日

オテロ：福井 敬／アントネッロ・パロンビ、デズデモナ：砂川涼子／安藤赴美子
イーゴー：黒田 博／堀内康雄 ほか

3月21日(土)～3月22日(日) 会場：神奈川県民ホール・大ホール



砂川涼子、福井敬 アントネッロ・パロンビ、安藤赴美子



撮影：青柳聰

オルガン 夏休み子どもスペシャル
楽器の王様、バイオオルガンを知る旅に出発進行!
楽しく満足度の高い、人気のレクチャーコンサート!

8月1日(土)
神奈川県民ホール・小ホール
全席指定 一般(高校生以上)800円
子ども(5歳～中学生)500円
親子(一般1枚+子ども1枚)1,000円
梅干野安未(オルガン・お話)



**親子のためのファミリー・ミュージカル
『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』**
ファンタジックな巫門版ピノキオ。
いろいろなおとぎ話のキャラクターも登場。
楽しさぎっしりのファミリー・ミュージカル決定版!

8月8日(土)～16日(日)
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ
全席自由 おとな4,000円
こども(4歳～高校生以下)2,000円
おやこチケット
(おとな1枚、こども1枚)5,000円 イメージデザイン：下田昌克
原作：カルロ・コローディ 作曲・音楽監督：深沢桂子
演出：脚色：宮本雅門 共同演出・振付：福島桂子
出演：小此木まり 池田有希子ほか



**マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!
オーケストラ・コンサート、音楽体験企画**
見て、聞いて、感じて。夏休みだけの“オーケストラ”体験!

8月15日(土) オーケストラ・コンサート
神奈川県立音楽堂
全席指定 一般3,500円
中・高生1,500円 小学生1,000円 写真：金聖響
出演：金聖響(指揮)、松田理奈(ヴァイオリン)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
8月12日(水)～15日(土)
多彩な音楽体験企画がもりだくさん!
<参加費無料・要事前申込>
毎年好評のパックステージ・ツアー、ワークショップ、
公開リハーサル ほか ※詳細および申込方法は、WEBでご確認ください!



写真：金聖響

もっと、
Information
アートに。

**カンパニー
マリー・シュイナール
『春の祭典』『アンリ・ミショのムーヴマン』**
奇抜で独創的なダンスで世界を魅了するカンパニーが
モントリオールから横浜に初上陸!

10月24日(土)～25日(日)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
全席指定 7,000円 U24 3,500円
★セット券10,000円
※デボラ・コルカー・カンパニーと2演目セット券
振付・芸術監督：マリー・シュイナール



Photo: Marie Chouinard

第22回神奈川国際芸術フェスティバル

**デボラ・コルカー・カンパニー
『Belle(ベル)』**
斬新な発想と脅威の身体性が魅力の「デボラ・コルカー・カンパニー」! 7年ぶりにブラジルより来日!

10月31日(土)～11月1日(日)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
全席指定 7,000円 U24 3,500円
★セット券10,000円
※カンパニー・マリー・シュイナールとの2演目セット券
振付・演出：デボラ・コルカー



★2演目のセット券あり

**ラサール石井演出
ミュージカル『HEADS UP!』**

普段表舞台に登場することのない舞台スタッフの、
希望や夢を音楽にのせて綴る
新作オリジナルミュージカル!

11月13日(金)～23日(月・祝)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
原案・作詞・演出：ラサール石井
脚本：倉持裕
主演：袁川翔
発売日：KAme8/8(土)
一般8/22(土)



チケットのお求めは
チケットかながわ

WEB予約(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

0570-015-415(10:00～18:00)

窓口(県民ホール 10:00～18:00 / KAAT 10:00～18:00 / 音楽堂 13:00～17:00月休)

f チケットかながわ t @Ticket_Kanagawa も更新中!

編集後記

- 「ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」開幕。弊財団学芸員キュレーションによる美術作家、塩田千春氏の個展が日本館代表に。レポートはぜひ右記でご覧下さい(MAGCUL.NET)。(井)
- 『アドルフに告ぐ』を見た後、アンヌ・フランクの「影」として重荷を背負って生きてきた友人女性の記事を。人間から優しさを奪い、狂氣や憎悪を増殖させる戦争の恐ろしさを改めて重く感じました。(あ)
- 湘南といえば「生しらす」のイメージが強かったのですが、「たたみいわし」も特産品として有名とのこと。初めて知りました...お酒に合うとのことなので一度お取り寄せをしてみようと思います。(さ)



パシフィコ横浜 展示ホールA

☎ 045-412-6580 (ダイノワールド2015実行委員会)
<http://www.dinoworld.jp/>

ダイノワールド2015 ヨコハマ恐竜博~古生物の進化と大恐竜時代~

7月18日(土) ~ 8月31日(月)

世界初公開・ジュラ紀最大の肉食恐竜トルボサウルスと、日本初公開・白亜紀の暴君王ティラノサウルスのそれぞれ全身骨格が横浜に上陸! フードコートには浜松餃子と横須賀海軍カレーの2大グルメも登場します。

開場時間: 10:00 ~ 18:00 (入場は17:30まで)

入館料: 当日 大人1,800円、子ども(中学生以下)900円

前売 大人1,400円、子ども(中学生以下)700円

※3歳以下は入場無料



© JET CREATIVE / MASTER FOSSIL



パシフィコ横浜

ぶかり桟橋

新港ピア

横浜みなとみらいホール

クイーンズスクエア横浜

ランドマークホール

ランドマークタワー

馬車道駅

ヨコハマ創造都市センター

神奈川県立歴史博物館

日本郵船歴史博物館

BankART Studio NYK

象の鼻テラス

横浜開港資料館

日本大通り駅

1番出口

3番出口

馬車道駅

関内駅

関内ホール

関内

桜木町駅

地下鉄桜木町駅

横浜にぎわい座

県立青少年センター

横浜能楽堂

県立図書館

JR根岸線

地下鉄高島町駅

JR東海道本線・横須賀線

新高島駅

新港ピア

ピア赤レンガ

赤レンガ倉庫

大さん橋

大さん橋 ホール

山下ふ頭

山下公園

マリンタワー

横浜人形の家

元町・中華街駅

神奈川近代文学館

中華街

元町

山手

石川町駅

横浜スタジアム

関内駅

関内

野毛

大岡川

野毛山動物園

急な坂

スタジオ

黄金町エリア

マネジメントセンター

0 500m 1km

2015.10.17(土) ~ 12.6(日)
神奈川県民ホール KAAT神奈川芸術劇場 神奈川県立音楽堂

フェスティバルセット券発売中! (8/31(月)までの期間限定・限定セット数完売で終了)
プレミアム3演目セット/土曜午後3演目セット/室内楽3演目セット/オペラ&ミュージカル2演目セット

—柳慧プロデュース「フラックス・カルテット」/ギドン・クレーメル&クレメラータ・バルティカ/松山バレエ団「眠れる森の美女」/カンパニー・マリー・シュイナール/テボラ・コルカ・カンパニー「Belle(ベル)」/原案・作詞・演出:ラサール石井 ミュージカル「HEADS UP!」/辻敏郎作曲・三島由紀夫原作 オペラ「金閣寺」/モディアーニ弦楽四重奏団/鴻池朋子展「根源の暴力」

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival> (PC版)

The 22nd International
Arts Festival In
Kanagawa
その日、そのとき、その場所で
アートはいつでも「グローカル」

(横浜市在住カメラマン)
森日出夫さんの写真でめぐる
横浜情景

木立のなかにたたずむ不思議なオブジェは、頭髪をセンター分けにした男の頭をかたどった彫刻。
木村賀太郎作の「ザンギリ」です。そう、これは「西洋理髪發祥の地」の記念碑。県民ホールからほど近い、山下公園の中央にあります。開港後、横浜にやってきた結髪師たちは、入港する異国船に出入りして船員の顔剃りをし、西洋理髪師から技術を習得するようになりました。そのなかの一人、小倉虎吉が、明治2(1869)年、現在の中区山下町148番地(中華街の同撥本館付近)に初の「西洋理髪床」を開きました。「ザンギリ頭」は文明開化の一躍を担ったのです。

神奈川県発、文化発信ポータルサイト
マグカルネット MAGCUL.NET

神奈川芸術プレスはここにあります。
PRESS IS HERE

Kame
KANAGAWA members
登録無料!
メルマガ定期配信

県内のアート情報は
ここで探そう!
<http://www.kanagawa-at.info/>
[かな@]で県内のアート情報を検索できます。